

# エネパートナー

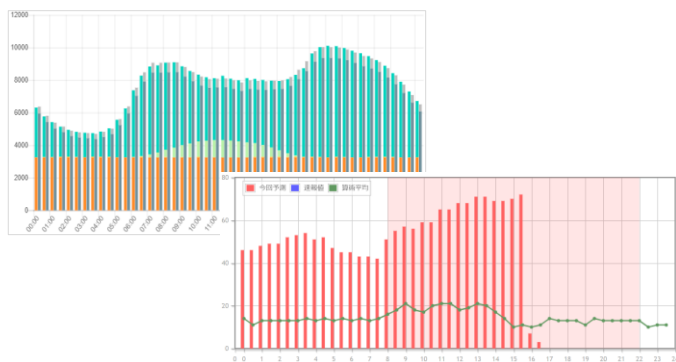
## ～ 電力小売基幹業務のAIによる自動化技術 ～

### マッチングの要望

希望マッチング先	①自治体	②家庭用蓄電池メーカー	③ 店舗や事務所が多い企業
マッチングメリット	<ul style="list-style-type: none"><li>・スマートシティ構想の一環で、電力小売り事業を行う場合、本システムにより、<b>省人化や業務効率化</b>を図る事が可能。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・蓄電池に本システムを組み合わせる事で、蓄電池の最適制御が可能となるので、<b>蓄電池の高付加価値化</b>を図る事ができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・同システムを導入し、電力使用を束ねることにより、<b>電力調達コストを削減</b>できる。</li></ul>

### 開発したのはこんな技術です

- ・本件技術は、**AIを使った電力需給管理システム**になる。
- ・外的環境要件（天候や、温度など）と、電力の利用状況に関するデータを蓄積し、AIにより相関関係を分析。分析データと、天気予報等を組み合わせて翌日の電力需要を予測する事ができる。  
なお、需要予測に基づき、電力調達先の最適な選定が可能となる。
- ・電力小売事業を行う場合に必要となる、電力需給計画の提出等の基幹業務を自動化できる。
- ・システムはSaaSの形態で提供する。



### ★ おすすめのポイント

#### ① 専門人員をつけなくても新電力の運用が可能に

新電力事業者における電力需給計画の策定には、技術者や専門要員が必要で、また一般送配電事業者への申込みもFAXやメールなどで行われている。ここに同システムを導入し、基幹業務を自動化する事で、専門人員をつけなくても新電力の運用が可能となり、運用コストを低減できる。

#### ② 全体コストの低減が可能

精度が高い電力需要の予測に基づき、最もコストが安くなる電力の調達先を選定する。これにより、全体コストの低減につなげる事ができる。

#### ③ 低価格でのシステム提供が可能

- ・イニシャルコストが、160万円～。
- ・ランニングコストは、契約kW数による従量制で、1kWあたり70～80円程度。  
ミニマムで月額約40万円～。

### ▲ これまでの導入実績は？

- ・2018年8月時点で、12社にシステムを導入している。

### 🔧 この技術を開発したのは…

企業名	株式会社エネルギー・オプティマイザー		
所在地	東京都港区	資本金	20百万円
設立	2008年3月	従業員数	20名

お問い合わせボタン

<https://www.yano.co.jp/contact/contact.php/consulting>